

閉校に寄せて

坂野中学校3年 前田 恭 佑

瞬く間に過ぎ去った中学校生活。毎日が本当に刺激的で、決して退屈することのない日々でした。そんなかけがえのない日々を過ごした坂野中学校が、この3月に閉校を迎えることになりました。僕たちは、69年続いた坂野中学校の、最後の卒業生になれたことを誇りに思います。

期待に胸膨らませた入学式。小学校との違いに驚きながらも、新しい友達と過ごす毎日は新鮮でした。よく笑った休み時間。教室や廊下で輪になって話しました。休み時間の賑やかさを授業に持ち込んで、先生方に注意されたことも、今では良い思い出です。

数ある思い出の中でも特に心に残っているのは、体育祭と文化祭です。クラス全員で勝利を目指した体育祭。ケガの痛みを耐えながら、皆の心を一つに進んだムカデ競争。

学活や放課後も皆で練習して臨んだ合唱コンクール。練習を重ねるごとに、大きな声で歌えるようになりました。自然と笑顔がこぼれ、歌を通して、学級が一つにまとまっていくのを感じました。

僕たちは学年が進むにつれ、行事に真剣に取り組めるようになっていきました。だからこそ、中学3年生の体育祭と文化祭が、一番心に残っています。きっとそれは、先輩方の真剣に取り組む姿が、僕たちの心に残っているからだと思います。

行事だけでなく、部活動や委員会活動などの生徒会活動を通して、僕たちは先輩方から沢山のことを学びました。僕たちが三年生になったときの姿を、示していただいたのだと思います。こうやって、先輩から後輩に受け継がれる力が、坂野中学校の良き伝統だと思います。

しかし、僕たちが一番お世話になったのは先生方です。頑張ったときは、褒めてくださり、一緒に喜んでくださいました。間違ったことをしたときは、何度も叱ってくださいました。そんな先生方にいつも励まされ、安心して学校生活を送ることができました。ドンっと構えてくださる先生方に甘え、わがままを言ったり、相談相手になってもらったり、一緒に大笑いをしたり。先生方と過ごした時間は、僕たちの思い出の大切な一部分です。

この3年間本当にいろいろなことがありました。決して平穏な日々ばかりではなかったけれど、それでも振り返ったときに、嬉しかったことや楽しかった思い出が溢れてくるのは、毎日が充実していたからだだと思います。この3年間で築いてきた思い出は、僕たちの記憶の中に、深く深く刻み込まれています。この坂野中学校で学んだことや、身につけたことを力に変えて、自分の夢の実現のために一生懸命歩んでいきたいと思っています。これまで支えてくれた友達、先生方に本当に感謝！そして、こんな素晴らしい出会いを与えてくれた坂野中学校に、最大級の「ありがとう」を！